

総務文教委員会会議録

平成25年6月28日

13時00分

開会

13時07分

閉会

網走市議会

午後1時00分 開会

○平賀委員長

それでは、ただいまより総務文教委員会を開会いたします。

本日の案件は、行政視察の実施についてであります。

皆様のほうから視察の候補地、あるいは内容等について案件お持ちの方いらっしゃいましたら、御提示いただきたいというふうに思いますがいかがでしょうか。

○高橋委員

中1ギャップ解消へ、4・3・2制というのがあるそうです。

これは埼玉の北本市であります。

小学校では中学校教諭が、中学校では小学校教諭が一部授業を受け持つという、それで4・3・2という制度を使っているそうです。

これを見てみたいなど。

ちょうど東京網走会ということを知っておりますので、もしそれにあてればなど、というところですか。

○平賀委員長

ほか何か。

○飯田委員

今、市民健康プール建設というか基本構想か基本計画、このあと実施計画、聞くところによると基本計画と実施計画、実施設計、基本設計と一緒にするような雰囲気なのですよ、時間ないから。

さきの総務文教委員会の時に質疑した後各団体と確か折衝するのですけれども、本来であれば基本設計ができていますので、基本構想、基本設計それを見せて各要望を聞いたり、それから市民に意見聞いたりして実施設計ということになって、それは間に合わないの、最終的には9月なり10月に両方発注、基本設計が補正で関係しましてね、それが実施設計みたくなるので私たちの視察が10月の末なので、その後見えてからいろいろ意見の反映できるというふうなことが12月だとか1月までできるということらしいので、市民健康プールの基本的な構想に反映できると。

それから健康増進機能っていうのですか、施設のそういうものを特化してやっぱり私はちょっと見に行くべきだと思いますので。

○平賀委員長

その他いかがですか。

○飯田委員

あとですね、場所的にも東京網走会が10月23日なのでその近辺にも候補はあります。

それから人口規模が同じぐらいで言いますと、新潟県の阿賀野市が4万6,000人ぐらいのところもそういうようなことをやっているの、東京近辺でまわるのか、それともその辺も見てどこか行ってやるのかそれも含めて検討したらいいと思います。

○平賀委員長

ほかお持ち合わせの方いらっしゃいますか。

○近藤委員

今飯田委員からプールのお話もありましたけれども、今網走市は割と大きな事業が立て込んでいて、広く政策立案のプロセスを考える上で市民の意見をどういうふう聞いてどういうふう反映していくかっていうところがちょっと鍵になってきているのかなという思いがあって、大方市がやる手法というのは、どちらかというところある程度形をつくってこれでどうでしょうかというような流れが多いのですが、ゼロベースで市民との対話をしながら、ここは教育機関なんですけど教育のための施設を今つくろうとしているんですけども、埼玉県鶴ヶ島市というところで未来との対話プロジェクトというのをやっていて、市役所と地元の養命酒酒造が組んで子ども向けの教育施設をこれから作っていくのだけれども、行政が一方的に計画をつくるのではなくて、地元の東洋大学の建築学科の学生たちを巻き込みながら、ゼロから計画をつくっていくと。

なおかつ市役所もさまざまな形を想定して試算なんかもしながら、具体的にこれをやったらこれぐらいのお金かかりますみたいな、かなり突っ込んだ情報も開示をしながら議論を進めている、まさに現在進行形の取り組みなのですけども、そういうことをやっているまちがあって、広く政策、立案、企画という部分も含めて、わが市のさまざまな事業に反映できないかなという思いがあります。

これは埼玉県鶴ヶ島市であります。

以上です。

○平賀委員長

ほかお持ちの方いらっしゃいますか。

私からはちょっと記憶があんまりはっきりしてないんですけども同じく埼玉県だったと思うんですが、障がい者の学校の学びの関係でちょっとあの新たな方式をとられているというの聞いて

ましたので、日程が合えばその辺も見せていただければというふうに思っているところであります。

今皆さんからいただいた話ですと、教育の面を見ていきたいというものと、それから健康増進施設に関わりもありますので、プール、健康増進施設をとということと、それから政策立案の関係で市民参画を積極的にやられているところがあるのでそこをとというような三つの主な希望があったというふうに思います。

これらを勘案しながら日程含めて、調整をしていきたいというふうに思いますが、特段何かほかにこれもっていうのはありませんか。

○飯田委員

今ここでどうするのかというのもあるのですが、時間がなければ向こうとの折衝もあるので、正副にも腹案がある程度いろいろあると思いますので、今の形を反映した案を一回正副で練るっていうのも一つの方法だと思いますけどその辺は委員長等何か。

○平賀委員長

皆さんに御了解いただければ正副のほうである程度の案を練らせていただいて、また後日皆さんにお示しをしながら日程の調整を含めてしていきたいというふうに思っているところですけどもそれでよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○平賀委員長

そういうような形にしたいと思います。

それぞれの皆さんお手元の資料等お持ちでしたら事務局のほうにお届けいただければ我々も検討をしやすいというふうに思いますので御協力いただければというふうに思います。

その他何かございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○平賀委員長

それではまた後日改めて委員会を開くということで今日の総務文教委員会についてはこれまでとさせていただきます。

お疲れさまでした。

午後1時07分 閉会